

事業活動報告（‘18.4～’19.3） 事業所名 かめおか作業所

<p>1.2018年度 事業所方針</p> <p>1. 「はたらく」場面を通して、メンバー一人ひとりの可能性を広げる支援を行います。</p> <p>2. メンバーのあたりまえの生活を支えます</p> <p>3. 「誰もが安心して過ごす」ことができる作業所をめざします。</p> <p>4. 「思いや願いに寄り添い」それを共感できる職員集団をめざします。</p>
<p>2.利用者・職員状況</p> <p>○利用者：定員50名 現員53名（男性29名 女性24） 平均年齢39.2歳</p> <p>○職員：16名 正規8名 非正規8名（所長1名 主任1名 支援員12名 厨房職員3名）</p> <p>・作業グループ</p> <p>食品加工グループ：漬け物、味付け味噌、生ふりかけなど 11名</p> <p>縫製クラフトグループ：ブックジャケット、ふきん、バッグ、ペンケースなど 13名</p> <p>下請けグループ：お菓子の袋詰め、DM封入発送、箱折りなど 28名</p>
<p>3.実践内容と成果</p> <p>2018年度は3名の利用者が法人内の事業所に異動となり、1名の利用者が他法人の事業所に異動になりました。また1名の利用者がご家庭の事情により、遠方に引っ越されたために、退所となりました。支援学校から1名の利用者が新規に入所され、前年度よりマイナス4名の53名の方が利用されています。</p> <p>日給500円、各種手当合わせて月、平均12000円程度を支払っています。利用者のボーナスは、夏季・冬季ともに平均給与の1.5倍の金額を支給することができました。しばらく利用者が希望する金額を支給することができていなかったのが、利用者の日頃のがんばりに報いることができました。</p> <p>昨年度まで亀岡市から成人式の記念品製作の依頼をクラフトグループで請け負っていましたが、今年度からは、市の財政事情でなくなることで今年度は減収になることが予想されていましたが、ミル総本社様から例年以上に発注いただいたり、下請け作業が好調だったりすることで、作業会計は当初の予想より赤字を抑えることができました。2019年度は下請けや食品加工に新しく仕事をいただいているので、より多くの工賃を利用者に支払うことができるようにしたいです。</p> <p>今年も旅行、ごくろうさん会、歓迎会、壮行会などの行事を利用者の自治会が中心に準備を進めてきました。旅行では加齢により身体的にも配慮が必要になってきた利用者が増えていく一方で、若い元気な利用者も一定数いる状況で、行程の工夫が必要でした。事前に下見などを行い、すべての利用者が楽しめる旅行を考え実行しました。</p> <p>蕨田野小学校を初め、亀岡市内の小学校と交流会の取り組みを進めました。小学生に作業所の理解を広めることで、障害のある人のより豊かな地域生活が実現できればと考えています。</p>
<p>4 次年度への課題とそれに対する取り組むべき具体的な実践内容</p> <p>・利用者の工賃アップのために、より効率的な作業や、売れる商品づくりが継続した課題です。</p> <p>・50名を超える利用者の障害実態が広がり、多様な支援が求められています。利用者の当たり前の生活が実現できるよう、職員の支援質を向上させていきます。</p>